

議会だより

No. 143

苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1

発行日 令和 8 年 4 月 2 8 日

令和 8 年度予算可決

令和 8 年第 1 回町議会定例会は、3 月 6 日に招集され、会期を 17 日までの 12 日間と決め、開会初日に令和 7 年度一般会計及び 3 特別会計並びに 3 事業会計の補正予算 7 件、その他 1 件を可決した。その後町長、教育長の執行方針と条例 3 件、その他 5 件、令和 8 年度一般会計並びに特別会計 4 件、事業会計 2 件の説明を受けた。予算説明のあと予算特別委員会に付託し、10 日から 15 日まで議案審議のため休会とした。

16 日に再開し、伊藤議員が一般質問を行ったあと、予算特別委員会に付託された議案の審議を行い、その後令和 8 年度一般会計、特別会計 4 件、事業会計 2 件、条例 3 件、その他 5 件、同意 1 件を可決。追加議案の工事請負契約 1 件、下水道事業会計補正予算 1 件と議員提出の発議 2 件を可決し、会期を 1 日残して閉会した。

- 令和 7 年度一般会計補正予算 (第 1 2 号)
補正額 4 4 2 万円 (増額)
総 額 5 7 億 9 9 7 1 万 9 千円
- 国民健康保険特別会計補正予算 (第 5 号)
補正額 4 6 4 6 万 8 千円 (増額)
総 額 4 億 4 7 4 9 万 8 千円
- 介護保険特別会計補正予算 (第 5 号)
補正額 4 3 5 万 3 千円 (増額)
総 額 4 億 7 5 8 6 万 3 千円
- 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)
補正額 2 0 7 万 9 千円 (増額)
総 額 6 3 1 0 万 8 千円
- 簡易水道事業会計補正予算 (第 3 号)
補正額 1 0 万円 (増額)
総 額 2 億 5 8 7 4 万 4 千円
- 下水道事業会計補正予算 (第 4 号・第 5 号)
補正額 4 3 万 6 千円 (増額)
総 額 3 億 3 1 5 5 万 2 千円
- 風力発電事業会計補正予算 (第 3 号)
補正額 1 6 4 万 7 千円 (減額)
総 額 1 億 1 5 0 9 万 5 千円

令和 8 年度予算

令和 8 年度

主要事業

一般会計	5 4 億 3 7 0 9 万 0 千円	古丹別流雪溝管理及び更新事業
国民健康保険特別会計	4 億 4 7 2 0 万 8 千円	古丹別地区多世代交流多機能型拠点施設整備事業
介護保険特別会計	4 億 7 0 8 1 万 0 千円	上平共同利用模範牧場整備事業
後期高齢者医療特別会計	7 8 8 5 万 2 千円	各観光施設の改修
風力発電事業特別会計	4 億 5 6 8 4 万 4 千円	苫前漁港蓄養実証事業
簡易水道事業会計	3 億 5 5 7 4 万 6 千円	ななかまどの館大規模改修
下水道事業会計	2 億 6 1 7 0 万 5 千円	小型ロータリー除雪車購入

令和8年第1回定例会

3月6日

(主な議案)

●和解及び損害賠償の額を定めることについて

社会体育館横の倉庫の屋根トタンの一部が飛散したことにより、倉庫裏駐車場に駐車していた北留萌消防組合古丹別支署現場作業員の車両3台に当たり、破損させる損害を与えた。

損害賠償額 706千円

●第6次総合振興計画の策定

まちづくり基本条例に基づき施策を推進し、行財政運営を効率的かつ計画的に進めるための基本指針とする。

●過疎地域持続的発展市町村計画の策定

過疎対策事業債等の財政特別を活用するための基本計画であり、総合振興計画との整合を図りつつ推進する。

●風力発電事業特別会計条例

公営企業会計を特別会計に移行することから新たに条例を制定。

●風力発電事業基金条例

風力発電事業特別会計の設置に伴い、風力発電事業基金設置のため新たに条例を制定。

●国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険税率の改定による条例の一部改正。

●指定管理者の指定

ななかまどの館
有限会社 大川商店

●指定管理者の指定

生きがいデイサービスセンター
社会福祉法人 苫前幸寿会

●指定管理者の指定

上平共同利用模範牧場
るもい農業協同組合苫前基幹支所

●留萌地域公平委員会委員の選任

同意
羽幌町幸町37番地6
石川 宏氏

●工事請負契約の締結

九重地区移動通信用鉄塔施設受電設備整備工事
北海道工・山崎経常建設共同企業体

1億5895万円

委員長 早川 日出利
副委員長 田沢 収

予算特別委員会

【一般会計予算】

質 伊藤委員

アライグマ捕獲奨励金の詳細について。

答 桧森農林水産課長

4月～6月までを重要捕獲期間とし、1頭につき奨励金1千円を3年間支給する。

質 伊藤委員

町有バスは相当年数も経過し、今後、入替えも十分に考えられる。人口減少が進む中、町の地域公共交通活性化協議会との連携を進めてほしい。

答 宮前こども教育課長

町有バスは平成12年購入し走行距離も54万kmを超え、整備業者とも協議しており、今後の入替え等も検討している。

答 加賀谷総合政策室長

スクールバスの有効活用を今後も検討して行きたい。

質 田沢委員

スポーツセンター用備品購入費の内訳は。

答 森社会教育課長

老朽しているバレーボール支柱の購入である。

質 田沢委員

用具類も相当数が古くなって来ており、出来れば軽量で子どもたちでも運搬可能なものを購入してほしい。

答 森社会教育課長

体育施設を総点検し、使用可能な有無を計画的に協議したい。

質 村本委員

農業支援対策事業補助金は農家として使いやすい補助金で感謝しているが、近年、堆肥の使用が減少しており、違う方向での使用について担当課の意見を聞きたい。



質 伊藤委員

旭・力昼地区スクールバス運行管理業務委託料の詳細は。

答 宮前こども教育課長

町有バスを無償で貸出し、人件費、燃料費、修繕料、消耗品等を含めての委託である。

質 伊藤委員

アライグマ捕獲奨励金は来年度以降、期間を限定せず支給すべきではないか。

答 桧森農林水産課長

通年捕獲は十分理解しているが、今回は繁殖期に期間を限定し、効果や実績を検討して次年度以降の参考にしたい。

答 桧森農林水産課長

土づくり事業に対しての町独自の事業であり、取り組みメニューの変更や課題解決に向け効果の高い取り組み内容等をJA担当者とは協議している。

質 村本委員

今回、苫前消防支署費が古丹別消防支署費に統合されたが、勤務体制はどうなるのか。

答 横野総務財政課長

基本的には支署の業務内容は変わらない。

質 磯崎委員

ナマコ中間飼育実証事業は1年きりの事業か。設置する場合は漁協等と協議願いたい。

答 桧森農林水産課長

稚ナマコの一定保育状況を見極めるもので、数年単位で実施したい。設置する場所は漁協と協議していく。

質 伊藤委員

パソコン購入17台は通常の更新か。また更新率はどの程度か。

答 横野総務財政課長

住基や番号系のパソコン33台中17台更新。一般事務用は今年度で更新終了。番号系は半分ほど更新が残っている。

質 伊藤委員

ここにこタクシー運行事業で人口減少などの影響は。

答 名畑保健福祉課長

利用件数は昨年は4806件で、R7年度対象者は964名中、受給者は460名で人口減少や利用しない人も多くいる。



苫前町ここにこタクシーの申請について

1 苫前町ここにこタクシー運行事業とは

苫前町では、外出に不便をきたしている高齢者等の移動手段の確保や地域の活性化と福祉の向上を図るため、利用者の需要に応じて運行する「苫前町ここにこタクシー」運行事業を令和8年度も継続して実施する予定です。次のとおり『苫前町ここにこタクシー運行事業の概要』についてお知らせいたします。

質 伊藤委員

バス停留所移設工事費は沿岸バスかスクールバスか。

答 加賀谷総合政策室長

九重地区のスクールバスのバス停である。

質 伊藤委員

町内には同じようなバス停が多々あり、一度全町を確認するべきではないか。

答 加賀谷総合政策室長

使用されていないバス停や待合所の老朽化などを含め、全町を確認したい。

質 阿部委員

消防古丹別支署の予算が一本化になっている理由は。

答 横野総務財政課長

従前は2支署それぞれに予算があったが、今年度から古丹別支署に一本化した。機能的には変更はない。

【簡易水道事業会計予算】

質 村本委員

水道メーター検針の委託は高齢者事業団に委託している。今後どのように人員不足に対応していくのか。人手不足の折、今後スマートメーター等の導入の考えはあるのか。また水道料金の値上げの考えは。

答 宮野建設課長

スマートメーターについて検討はしているが、設備投資に多額の費用がかかる。水道料金は道内でも高い方であり、現段階での値上げは考えていない。

【総括質疑】

質 阿部委員

ここ数年、「公設民営」で医療機関やスーパールの建設などを実施してきたが、根本は人口減少であると考えている。

執行方針の中にある、将来に向けての持続可能なまちづくりは若者の定住や安心して働くことで、少子化や人口減少の対策になる。

若者の雇用に向け奨学金返還支援事業補助金は他町から若者を呼び込むよい事業である。

更に今後どのようなメニューを作っていくのかお聞かせいただきたい。

答 成川副町長

地域公共交通対策では、官公庁や事業者、町民が一体となって意見を出し合いより良い交通体系を目指している。

公設民営に関しては、地域や産業団体などの声を聞き、事業化を進めてきた。今後も色々な声を聞きながら施策を進めて行きたい。

答 福士町長

持続可能なまちづくりは安心して住み続けるものと考えている。

安心安全を守るのが行政の仕事であり、正しい情報を入力することが大事である。

一般質問

Q ゼロカーボンシティ宣言後の取り組みと今後の進め方は A 産業振興や地域経済の活性化を両立した形でゼロカーボンへ取り組む



質問

伊藤 議員

世界規模で進む地球温暖化対策に世界共通認識のもとパリ協定が採択され、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指している。

地球温暖化対策は、持続可能な地域社会を実現するためにも、脱炭素社会の実現は避けて通れない課題でもある。

本町においては、風力発電事業による再生可能エネルギーの町として、管内では先んじてゼロカーボンシティ宣言をし、多くの取り組みを実施している。

ゼロカーボンシティの実現には、行政の取り組みだけではなく、町民、事業者の理解と協力が必要不可欠である。

あらためて宣言後の町の取り組みと今後どのように町民参加型脱炭素の取り組みや環境教育を進めていくのか。

答弁

富士 町長

本町は、全国に先駆けて平成10年から風力発電事業に取り組み、令和2年には町営夕陽ヶ丘風力発電所のリプレースを実施、令和4年1月に「苫前町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年カーボンニュートラルの実現に向け進めている。

町営と民間2発電所の総発電力は5万2千800kW、年間総発電量は約1億4千万kWhに達し、一般家庭約3万5千世帯分の使用電力量に相当。年間約7万6千トン、東京ドーム約30杯分のCO₂を削減し、脱炭素への取り組みを行っている。

留萌管内は、有効な風資源に恵まれており一方で、送電網の脆弱さにより、その潜在力が十分に活かされず、送電網と蓄電設備の整備を国や関係機関に強く要望をしている。

町営風力発電所の発電量は、年間約600万kWhで、令和6年1月から全量を北海道ガス株式会社へ売電、同年4月からは町内6か所の公共施設への再生可能エネルギー由来の電力供給を開始した。年間発電量の約30%に相当し、公共施設全体のCO₂排

出量を約55%削減している。今後は、公共施設のみならず、地域全体へと広げていく。LED照明器具購入補助は、今後も脱炭素施策として実施していく。

林業では、伐採した町有林に、ミズナラ及びヤチダモの植栽を行い、針葉樹中心の森林から広葉樹林への転換を図り、「伐って、使って、植える」資源循環を確立し、森林の二酸化炭素吸収機能を高めていく。

水産では、ウニの蓄養実証事業の中で、ブルーカーボンの観点から、ウニの餌料用コンブ養殖の実証にも取り組み、養殖体の確立とCO₂吸収量の試算などを実施し、将来的にカーボンク

レジットの取得の可能性についても検討する。雪冷熱荷さばき所は、施設の老朽化対策や雪冷熱のさらなる効率的な活用を含めた改修について検討する。

漁協の冷蔵施設や農協の定温倉庫など、一次産業の生産現場のエネルギー需要に対して町営風力発電による再生可能エネルギーの活用を進め、脱炭素と産業振興の両立に、関係団体と協議を進めていく。

再生可能エネルギーの取組や家庭で実践できる省エネルギー



ゼロカーボンの実現に向けた取組は環境政策にとどまらず、地域の未来を守り、次の世代へ持続可能な社会を引き継ぐための重要な地域戦略でもあり、自然エネルギーを最大限に活用しながら、産業振興や地域経済の活性化を両立した形でゼロカーボンへの取り組みを進めていく。

●令和8年度住民生活課所管
主要事業

・歯科健康診査の実施
・歯周疾患の予防を促進し口腔の健康の保持・改善の意識の向上を図る。

・ごみステーション設置工事
鉄製ステーション 8基

木製ステーション 2基
・汚水処理施設共同整備事業
負担金 2434万円

・羽幌町外2町村衛生施設組合
負担金 6358万4千円

・地域集会施設改修補助金
九重コミュニティセンター改修
・地域集会施設「上平ふれあい
センター」の閉鎖により飛散
防止ネットの設置。

●国民健康保険税条例の一部
改正

・令和8年4月から開始される
「子ども・子育て支援金制度」
に係る条文の追加を含め、条
例本文の一部を改正する。

●商工会事業

・「商工会運営事業」・「プレミ
ム地域振興券発行事業」・「
中小・小規模事業者持続的発
展事業」等の実施経費に対し、
補助。

総事業費 1億593万7千円

●各観光施設の改修等

町内観光施設が経年による
劣化により、施設・設備の安
全性が低下しているため修繕、
備品購入等を行う。

・オートキャンプ場転落防止柵
修繕

・オートキャンプ場芝張替修繕

・その他観光施設突発的修繕

・三毛別罷事件復元地開閉設準
備業務委託

・ホワイトビーチ遊泳区域設置
及び撤収業務委託

・シーフロントパーク大規模改
修工事

・オートキャンプ場改修工事
ホワイトビーチ改修工事

・未来港公園改修工事

・ななかまどの館大規模改修工
事

・ホワイトビーチ両替機購入費

●ななかまどの館指定管理者
令和8年4月1日から4年間
有限会社 大川商店

●苫前商業高等学校入試出願
状況及び生徒募集対策・魅力
化事業

1月26日現在25名の出願。
学校訪問・学校説明会・地
域学への支援の継続。

学校後援会への補助。

令和8年度から女子寮別棟
の賃貸借期間10年間が開始す
る当該経費は地域未来交付金
に追加申請中。



女子寮全景



部屋の内部

令和8年度から6ヶ年
の貸付期間

●強風による社会体育館倉庫
の屋根トタン飛散に伴う車両
の破損

倉庫裏駐車場内の北留萌消
防組合古丹別支署建設作業員
の車両に飛散したトタンが接
触し傷を負わせた。

●令和8年度保健福祉課所管
主要事業

・留萌中部地域子ども発達支
援センター負担金
負担額 643万7千円

・苫前幸寿園地下タンクライ
ニング工事補助金
工事補助金 222万8千円

●生きがいデイサービスセン
ター指定管理者
社会福祉法人 苫前幸寿会

●アライグマ捕獲奨励金
毎年4月1日～6月30日ま
での3年間
1頭につき1千円を支給す
る

●上平共同利用模範牧場整備
事業

事業対象者 上平共同利用模
範牧場及び町内酪農家

事業名 草地畜産基盤整備事
業・公共牧場整備型
事業期間

令和8年度から6ヶ年

総事業費 13億1千万円
●上平共同利用模範牧場の指
定管理者
るもい農業協同組合苫前基
幹支所



上平共同利用模範牧場

●鳥獣被害防止総合対策事業
電気柵購入
総延長3万1km
事業費 1836万6千円

●森林環境譲与税事業
森林整備・人材育成・木材
利用・普及啓発・町有林人工
造林地下刈工事に活用。

●苫前漁港蓄養実証事業
ホタテ養殖ふ頭を有効活用
し、促成コンブの採苗および、
餌料用コンブの養殖試験を継
続し、ウニの安定的な餌料確
保に向けた検証を行う。

- 令和8年度水産関係予算
- ・漁港水産生物移植業務委託
- ・ナマコ中間飼育実証事業備品購入費
- ・地域マリンビジョン協議会運営事業補助金
- ・水中ドローン購入事業補助金
- ・水産物ブランド化事業補助金
- ・ICT水質監視事業補助金



採捕場所及び放流予定箇所

- 令和8年度土木事業
- ・道路除排雪業務委託(継続)
- ・凍上対策道路整備工事(新規)
- 港幌内線
- 東川川南線
- 歩道補修工事(新規)
- 古丹別南2丁目線
- 古丹別西2条仲通線
- 道路照明設置工事(継続)
- 岩見川南1号線

- 古丹別東団地仲通線
- 川添団地通線
- 古丹別西4条仲通線
- 古丹別西1条線
- 古丹別南2丁目線
- 道路立木撤去工事(継続)
- 旭長島線
- 昭和長島線
- 古丹別学園通線側溝補修工事(継続)
- 港団地1号線側溝補修工事(新規)
- 長島6線道路線側溝補修工事(新規)
- 道路素掘側溝補修工事(新規)
- 栄浜海岸線側溝設置工事(新規)
- 港幌内線法面補修工事(新規)
- 古丹別川北2号線法面補修工事(新規)
- 旭長島線歩道整備工事(継続)
- 橋りょう長寿命化総点検委託業務(継続)
- 東川川北線(滝本橋)橋りょう修繕工事(新規)
- 河川立木・土砂撤去工事(新規)
- 河川(江島沢川)土砂撤去工事
- 河川(南出の沢川)立木撤去工事



今年度改修予定の公営住宅



更新される小型除雪車

- ・小型ロータリー除雪車購入費
- ・流雪溝更新事業負担金

- 令和8年度建築事業
- ・町営住宅改善事業
- 北斗団地6号棟外壁改修
- 天竜団地2号棟外壁・屋根改修
- 町営住宅維持修繕事業
- 北斗団地6号棟駐車場屋根葺替工事及び電気室鋼製建具取替工事
- 令和8年度簡易水道事業
- ・浄水場、取水場の管理業務委託
- 町内業者への365日対応の契約に見直し
- ・浄水場更新工事
- 攪拌装置(ミキサー・フロキュレクター)の更新
- ・浄水場大規模改修工事
- 外構工事(フェンス・進入路アスファルト舗装)
- 令和8年度下水道事業
- ・下水道汚泥の有効利用の検討経過と主要事業
- 令和8年度風力発電事業
- ・リプレイス後の運転状況
- 令和7年度発電量見込

633万 kWh

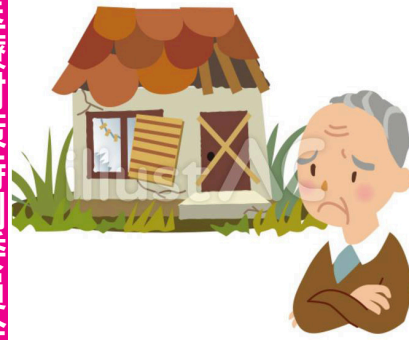
- ・風力発電事業
- ごみ袋助成金
- 省エネ設備等導入補助金
- 環境エネルギー学習



順調に稼働している風車

- 風力発電事業会計の特別会計移行
- ・令和8年度より公営企業会計から特別会計へ移行
- 移行に係る条例の制定

- 令和8年度空家等対策事業
- 空家等対策計画の改定
- 現行計画による特定空家等
の対策
- 計画改定後の特定空家等対
策



医療対策特別委員会 2月27日

- 苦前厚生クリニック検査機
器等更新補助
- 超音波診断装置（エコー）
- 館内照明機器のLED化
- 電話交換機更新



LEDライト

- 苦前町立歯科診療所及び古
丹別歯科診療所の診療機器更
新
- 診療台ユニット更新各1台



古丹別歯科診療所

令和8年第1回臨時会 2月3日

- (主な議案)
- 専決処分の報告と承認
- 令和7年度一般会計補正予
算（専決第1号）
- 衆議院議員通常選挙執行委託
金

- 令和7年度一般会計補正予
算（第10号）
- 物価高騰対応重点支援地方
創生臨時交付金

6007万9千円

令和8年第2回臨時会 2月18日

- 令和7年度一般会計補正予
算（第11号）
- 畑地化促進事業土地改良区
決裁金等支援補助金
- 工事請負契約の締結
- 古丹別緑ヶ丘スキー場リフ
ト改修工事
- 契約金額

1005万1千円

7337万円



今年度改修する緑ヶ丘スキー場リフト

議会報発行特別委員会

- 3月18日
検討協議・レイアウト・編集
作業
- 3月19日
検討協議・レイアウト・編集
作業
- 3月27日
検討協議・レイアウト・編集
作業
- 4月7日
検討協議・レイアウト・編集
作業



議会報作成風景

編集後記

今号では主に7年度補正予算と、新年度の予算についてまとめました。

年明け早々は、賃金の値上がりなどいいニュースもありましたが、戦火の拡大で大変な世の中の流れになりました。年々資材・燃料費や人件費物価の高騰により、各種予算も増えていく傾向にあるように思います。

世界を見るとロシアとウクライナの戦争は5年目に入り、今度はアメリカ・イスラエルとイランの戦争が始まり原油価格が暴騰し、生活に関する全ての物の値段が上がっていきます。日本は中東から9割以上の原油を輸入しています。備蓄もあるとはいえ、長引けば大変なことになるのは間違いない状況にあります。

新年度も大変な一年になると思いますが、町民みんなで知恵を出し合って、この荒波を乗り越えて行けたらと思います。早く大きな戦争が終わり、世界に平和な日が戻るとを願います。

文責 服部大輔